

# 子ども達の成長を紡ぐ支援・関り

～教職の立場から見た保護者支援～

江別市立江別第一小学校

教諭 久保田 健一

# 江別市と江別第一小学校



## 【江別市】

人口：119,502人（令和3年4月1日現在）  
近隣都市：札幌市、北広島市、千歳市 など  
有名な物：れんが、ブロッコリー、大泉洋

## 【江別市立江別第一小学校】

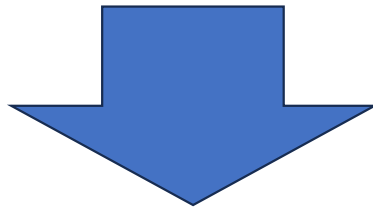
児童数：437人（令和6年5月1日現在）  
開校：平成28年4月7日  
自慢：penthouseから見える景色

# これまでの教師としての自分

- 「お前を待っている子が必ずいる」
- 「何を言うかではなく、誰が言うか」
- 「子どもの目を見て話さない大人たち」
- 「学校が好きな先生、子どもが好きな先生」
- 「先生っぽくない」 大きな振り幅
- 当たり前なんて関係ない
- 「また会いたいです」

# 若手時代に感じていた保護者支援①

- 教科書紛失⇒「もういいです。」
- 「子どもとしっかり話してくれない」



子どもの後ろにいる保護者

# 若手時代に感じていた保護者支援②

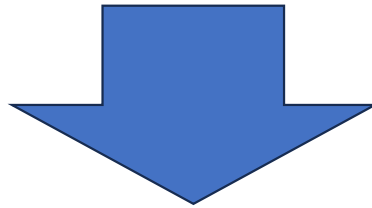
先輩の先生は

- 子どもの小さな変化に気づく。
- 保護者と笑顔で友だちのように。
- 率直に子どもの姿を伝えている。
- 周りとの情報共有。
- 関係機関との連携。

# 保護者としての見方・考え方

○先生の意図が伝わらない。

○長々した文よりも写真でわが子の様子を知りたい。



学校の当たり前は、児童や保護者の立場に本当に立っているのか

# 保護者との良い関係性を築く

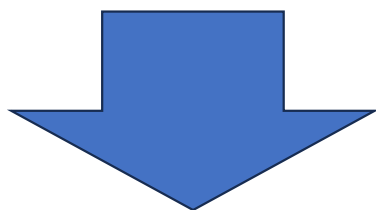
- 学校からの電話は憂鬱？ だったら
- 予想を超える情報と本音 ⇒ 「先生は変わった」
- 子どもから、保護者からいろいろな相談。
- 子どもへの手紙風お便り。
- 心配なのは、友だち、学習。 ⇒ 授業と家庭学習

**ただ、一番感じることは**

# 保護者を支援している感覚はほぼない

○親を変えるのは難しい。変えるのは子ども。

○親の需要をつくる。



子どもたちに本気で向き合う。

伝えたいのは「**本気になるって楽しい**」